

議 長	事務局 長	係 長	係
			

令和7年7月22日

藤崎町議会 議長

奈良 完 治 殿

藤崎町議会議員（民生教育常任委員会）

棚 内 伸 治



阿 部 祐 己



奈良岡 文 英



小 野

稔



相 馬 勝 治



議員研修報告書

下記のとおり、議員研修を実施しましたので、ご報告いたします。

記

1. 研修目的 カarbonニュートラルの視点を踏まえた環境改善の取り組みについて
2. 研修場所 愛知県豊田市役所
3. 研修期間 令和7年7月17日（木）から7月18日（金）まで
4. 研修結果 別紙のとおり



〈研修報告書〉

去る、7月17日から18日にかけて、愛知県豊田市に「カーボンニュートラルの視点を踏まえた環境改善の取り組みについて」、持続可能な脱炭素社会の構築に向けて、豊田市が推進している学校施設における暑さ対策とエネルギー施策を調査し、藤崎町の教育環境整備及び気候変動対策に資する知見を得ることを目的とし、行政視察を行いましたので報告いたします。

豊田市は平成17年に6町村と合併し、市域の7割を森林が占め、国内有数の産業規模を誇り、製造品出荷額等は2002年から連続して全国一位という大都市である。

2009年に国から「環境モデル都市」に選定され、環境先進都市としてスタートをし、次世代エネルギー・社会システム実証地域や地域活性化総合特別区域にも指定され、2019年11月に「ゼロカーボンシティ」を表明。カーボンニュートラル実現に向け、CO₂削減イメージの構築や方向性を定め、「とよたから広げるゼロカーボン・チャレンジ road to 2030」を掲げ、交付金も活用し、公共施設（198施設）への太陽光発電設備の導入等により、設置可能な公共施設への太陽光発電設備設置2030年度までに100%完了するとしている。

内容としては、①「暑さ対策とエネルギー負荷の両立」、全小中学校にエアコンを設置しつつ、外気温センサーやCO₂センサーによる自動制御を行うことで、省エネと快適性を両立する。②「再生可能エネルギーの導入」学校施設での太陽光発電での蓄電や循環型エネルギーの活用により、電力の地産地消と災害時の非常用電源を兼ねている。③「市民・事業者との連携」、学校を拠点に地域ぐるみで脱炭素教育を展開しており、「学び・行動・協働」の一体化が図られている。「こどもエコチャレンジ」を実施し、家庭単位での行動変容を促進している。

豊田市の先進的なものを藤崎町に落とし込むことは現実的には難しいが、藤崎町として今後、暑さ対策をエネルギー対策と一体で捉える視点が重要であり、単なる設備更新ではなく、「建物の構造」「利用者の行動」「再エネ活用」の三位一体の対策が求められる。学校を脱炭素教育の起点とし、地域や家庭、事業者と連動した普及・啓発活動が、町民の意識改革に大きく貢献するのではないだろうか。

以上、視察研修の報告といたします。

民生教育常任委員会

副委員長 棚内 伸治

議 長	事務局 長	係 長	係
			

令和7年6月11日

藤崎町議会

議長 奈良 完 治 殿

藤崎町議会議員（民生教育常任委員会）

三 上 道 人

阿 部 祐 己

小 野



棚 内 伸 治

奈良岡 文 英

相 馬 勝 治

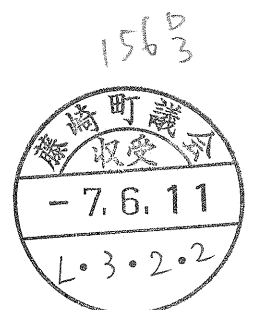


議 員 研 修 計 画 書

このことについて、下記のとおり実施計画書を提出します。

記

1. 期 日 令和7年7月17日（木）～ 令和7年7月18日（金）
2. 研修先 愛知県豊田市
研修場所：豊田市役所
3. 研修目的 カーボンニュートラルの視点を踏まえた環境改善の取り組みについて
4. 代表者 三上 道人



藤崎町議会 民生教育常任委員会 視察研修行程

1日目 令和7年7月17日（木）

午前7時50分 役場正面玄関前集合

午前8時00分 役場出発

午後2時00分～

愛知県豊田市 豊田市役所 視察

愛知県豊田市内ホテル 宿泊

2日目 令和7年7月18日（金）

午前9時00分 豊田市内ホテル 出発

午前9時30分～午前11時20分 トヨタ博物館見学

午後1時10分～午後2時40分 特別史跡名古屋場見学

午後7時50分 役場正面玄関前 解散